

## 新メンバー歓迎会

例年より一足遅れて、でしたが、5月6日に畜産資源研究室の新歓を行いました☆今年には新たになんと5人ものメンバーが研究室に仲間入りしました。

今回は、ちくしの飲み会史上かつてないほどムーディ〜でいい感じのお店を貸しきっての歓迎会でしたー！お店の雰囲気に若干のまれつ

つのスタートでしたが、お酒が入るといつものテンションで皆さん盛り上がっていましたね♪♪新しいメン

バーももうすっかり研究室に溶け込んだ様子で



した☆(先輩たちや先生方のハイテンションに一部啞然とする新メンバーの姿も見られたような…?)お酒もお料理も美味しく、ついつい飲み過ぎてしまいました(新歓される立場でもないのに)。



いまさらなので今年は自己紹介もなく、新歓らしさはあまりなかったかもしれませんが、なにはともあれこれで無事(?)研究室飲み会デビュー☆新メンバーを加えて総勢24名(永世院生含む)となった研究室で、研究も飲み会もより一層にぎやかに頑張っていきましょう〜♪



修学院離宮から借景を望む

### 目次:

優秀発表賞を頂きました 2 よ◎	
広岡先生の随筆 ◎ゴールドラッシュの時代	3
学生実験	4
はくび会ソフトボール 速報	4
はくび会畑通信2010	5
ブラジルの和牛生産	5
お知らせ	6

## アレックス先生Farewell Party

先月から研究室に滞在しておられるKahi Alexander先生が5月いっぱい日本を去られるということで、広岡先生のかけ声のもと、Farewell Partyが5月26日に開かれました。アレックス先生の

クエストは”Sushi”———少し変化球ですがちらし寿司が用意され、広岡先生のご厚意でモリタ屋の高級和牛でのすき焼き、かねてから広岡先生が一度食べてみたかったという青森産のシャコ(お取り寄せ)など豪



勢な日本食が並びました。乾杯から始まり、アレックス先生からのご挨拶、記念撮影、そしてすき焼き…と会は進み、アレックス先生にもお腹一杯召し上がっていただけたようでした。霜降り肉を、まず目で楽しんで、そして味わう研究室というのは、他ではなかなかないでしょう。また、熊谷先生のお宅の家庭菜園からの甘〜い玉ねぎ・ほうれん草と高級和牛のコラボは絶品でした！アレックス先生の日本でのよき思い出の1ページとなりましたでしょうか〜。すき焼きが一段落した後も、3割引で手に入れた美味しいチーズやワイン、そして日本酒…と、いつものようにE-303の夜は続くのでした。



盛夏を思わせるような陽気のゴールデンウィークが過ぎたかと思ったら、また肌寒さと雨が繰り返し…と変な天候が続いていますが、畜資の山羊と羊は元気に過ごしています。5月7日に羊の毛刈りと薬浴を行いました。すっきり体が軽くなって、夏への準備も万端です。



## (K林さん!)優秀発表賞を頂きましたよ○

5月28、29日に栃木県の畜産草地研究所にて、システム農学会2010年度春季大会が行われ、大石先生と私で参加してきました。

1日目のシンポジウムに参加するため、朝、京都駅の新幹線ホームで大石先生と待ち合わせだったのですが、やってきた大石先生にびっくり。なんて荷物が少ないんだ！できる男は違います。そんなショッキングな出来事の後、新幹線に乗って一路、那須の畜草研へ向かいましたが、やはり那須は遠かったです。



左が僕の荷物、右が大石先生の荷物

さて、1日目のシンポジウムは「草地の多面的機能の解明と利用 ー環境保全型農業と草地の役割ー」というテーマで講演が行われ、著名な大久保先生の講演や私がこれから取り組もうとしている研究に関係のある講演を聞くことができ、とても興味深いものでした。特に、シンポジウム後には大久保先生のお話を個人的に伺うことができ(私は大石先生についていっただけでしたが:笑)、とても勉強になりました。みなさん、夢を持って研究を行っていきましょね。また、1日目には以前にちくしに留学していたK林氏と再会を果たし、懇親会后、一緒にお食事に行きました。K林氏の栃木話はとても面白かったです。

2日目の一般研究発表では、私、兒嶋が発表を行いました。



た。しっかり準備をしていたのですが、緊張のためか発表の最初はかみがちでした(恥)。しかし、次第に落ち着きを取り戻すことができ、また、質問にも準備していた甲斐もあり、スムーズに答えることができ、無事発表を終えることができました。やはり学会での発表は何回やっても慣れないものですね。しかし、この発表で、幸運にも栄誉ある優秀発表賞を授与して頂くことができました。当日



の朝にコンビニで行われていたクジに当たり、ジュースをゲットしていたので、運を使い果たしたと思っていたので、驚きました。これを励みにし、今後より一層精進していきたいと思ひます。

無事、2日間の学会が終了し、大石先生と畜草研から帰ろうとした矢先、事件が起こりました。学会でアナウンスされていた時間にバスが来ない。次のバスは、、、1時間後??? 駅まで6kmくらいあるけどどうする? バスを待つ? 歩く? タク? それとも。。。

何はともあれ私たちは駅にたどりつき、無事帰路につくことができたのですが、いい経験ができました。詳細は書きませんが、気になる方は直接聞きにきてください。最後に、駅にたどり着いた時の大石先生の言葉を紹介したいと思います。

「今日はジュースが当たったり、優秀発表賞を受賞できたりいろいろあったけど、このことが一番ラッキーだったよね。」

### 学会情報

【システム農学会】  
5月28・29日に畜産草地研究所においてシステム農学会2010年度春季大会が開催されました。畜産資源研究室からは、兒嶋君(D1)らが、以下の研究発表を行いました。  
「GPSとGISを用いた放牧牛の耕作放棄地における空間利用パターンとそのエネルギー消費量推定との関係」

### 原著論文が掲載されました

兒嶋、大石、太田、吉岡、熊谷、守屋、広岡：佇立時に対する水平および傾斜歩行時のエネルギー消費量比の推定式作成とそれを用いた耕作放棄地放牧牛のエネルギー消費量の推定。  
日本畜産学会報、2010.



(K)

鳩の卵。半透明でした。

## 好評連載 広岡先生の随筆

### ③ ゴールドラッシュの時代



これまでで、畜産学の研究に関わって4半世紀となるが、その間、内外から畜産学の研究の動向を見て、今思うことがある。1980年代から、多くの畜産研究者が、畜産学に所属しながら、家畜を対象とした研究からラットやマウスの小動物を対象とした生命科学の分野に参入して行った。その理由としてはいくつか考えられるが、主たる理由の一つに研究の業績評価で、畜産学よりも生命科学の雑誌の方が、インパクトファクターが格



段に高かった点があったように思われる。しかしながら、畜産学に軸足を置きながら、生命科学の分野で勝ち抜くことは難しく、当時、生命科学をめざした多くの研究者は、競争に勝つことができず、再び畜産の研究に回帰してきている。また、地方の大学では、評価において、社会貢献、地域貢献も重視されるようになってきたため、畜産の分野に所属していれば、畜産学の研究が重視されてきた点も見逃せない。その結果、家畜を対象とした応用研究も大学で数多く行われるようになってきている。

現在の畜産学を見ていると、まさにアメリカのゴールドラッシュの時代の様相を呈している。栄養学においては、飼料の自給率の向上が至上命令となり、さまざまな飼料資源の掘り起こしとその飼料を用いた飼養試験が行われている。これらの研究の多くは、とにかく試行錯誤でさまざまな飼料資源を対象とした飼養試験を繰り返し、日本全国で膨大な結果を生みだしている。対象となる飼料資源が家畜のエサに成り得るか、嗜好性はどうか、これまでの輸入飼料の代替に成り得るかなどが、研究テーマとなっている。また、遺伝育種学では、従前のマイクロサテライトマーカに加えて、最近、高密度の一塩基多型遺伝子(SNP)に関する情報が得られるようになり、経済形質に直接影響している遺伝子との関連に関する研究が数多く行われている。この種の研究は、単発的ではあるが、確かに一つの結果が得られ、学問的にも産業的にも分かりやすく、社会の理解が得られやすい点に特徴がある。

しかしながら、私はこの種の研究が中心になることに一抹の不安を感じている。それは、多くの研究者がこの種の単発的な研究を求めるあまり、その結果に対する確認のための研究やより掘り下げた研究、一般的・普遍的法則性を導くような研究がなおざりにされる可能性があるからである。その結果、膨大な研究結果が出しっぱなしになり、次のさらなる応用に繋がらないと危惧されるからである。

研究には研究費が不可欠である。われわれの研究室も大所帯になり、優秀な若い人材の能力を十分に生かすためには研究費の獲得は至上命令である。その結果、研究成果が得やすい研究に走るとはやむをえないことではあるが、すべての研究者がトレジャーハンターとなって、単発的な結果と研究費をめざすようになっては、長期的に見ればその研究分野の発展が阻害される可能性があると考えられる。

当時、生命科学的な基礎研究を批判し、家畜を対象とした応用研究の必要性を叫んでいた私が、皮肉にも今の研究動向に疑問をもっているのはおかしなことではある。しかし、何事も中庸であることが必要でないかと考えている。

広岡博之



## 学生実験

5月12、13日に今年度第1回目の学生実験が行われました。内容は昨年と同様、「乳牛の形質・飼養管理と乳量・乳成分との関係」というタイトルで、乳脂肪・無脂固形分の測定、乳量等のデータを用いた分析、カッテージチーズの作成を行いました。また、畜舎の見学も行いました。可愛いヤギ・ヒツジとの触れ合いに3回生も大喜びでした(多分)。

私は12日のTAをしたのですが、昨年は実

験をする側の3回生だったので、TAの立場から学生実験に関わるのは初めてで新鮮でした。

学生実験は、備品の確認・運搬から後片付けまで、なすべき事がたくさんありましたが無事に終わることができて良かったです。

熊谷先生、大石先生、TAの皆様、お疲れ様でした☆

(ねこ介)

## 新メンバー紹介～第4弾～

先月号に引き続き、今年度の畜産資源新メンバーを御紹介します。第4弾は、畜産資源の東方神起メンバーの一員(?)と噂される前野君です。E303の住人です。

- ①前野宏倫(まえのひろみち)
- ②マエノ
- ③S62.4.11
- ④B型
- ⑤千葉
- ⑥麻布

①名前②なんて呼ばれたい?③誕生日④血液型⑤出身地⑥出身高校⑦特技⑧好きなもの⑨嫌いなもの⑩長所⑪短所⑫ひとこと

⑦スラムダンクのセリフを全て暗記しているため、日常会話の随所に感動的なセリフの数々が見られる。

- ⑧マンガ
- ⑨嘘
- ⑩決断力
- ⑪ネガティブ
- ⑫ソフトボール頑張ります。よろしく願います。



## はくび会ソフトボール速報



いよいよ平成21年度はくび会ソフトボール大会が開幕しました。畜産資源は新メンバーを迎え、戦力ダウンを免れたものの、春季キャンプを行わなかったため、練習不足は否めません(^\_^;)。さて、初戦の対生殖戦(5/18)、事実上の優勝決定戦とささやかれる毎年のこのカードは、畜資が先行したものの、最終回に生殖の猛攻にもろくも崩れ去り、6-11で屈辱の敗戦となりました。2戦目は対栄養(5/27)、先発ピッチャーおぐりんの緩急つけたピッチングで相手を翻弄、中盤栄養の攻撃にひるみつつも、最終回には千鶴ちゃんの迷走を皮切りに勢いづいた畜資の反撃で11-8と圧勝。試合後には、守備陣を見かねた大石先生の千本ノックもありました(大会前にこの練習をしたかった...)。さて、我ら畜資に残る試合は、昨年の優勝チーム連合との戦いです。2連勝で先行する生殖チームを誰が食い止めるのか?!後半戦をお楽しみに～♪

(ようこ)



## お誕生日会

4、5月のお誕生日会が5月21日に開かれ、4月生まれの竹内さん、前野くん、5月生まれの柳くん、安在くんのお祝いをしました。リクエストは“ビール”以外は特になかったため(ビールはしれっとスルーしておきました)、オーソドックスなデコレーションケーキ、純生ロールケーキ、研究室御用達(?)のカフェからのリングケーキを用意しました☆次からのお誕生日さんはぜひ(実現可能な)リクエストをイベント係までぶつけてくださいね。次回、6、7月のお誕生日会の日程は、決まり次第追ってご連絡いたします☆

イベント係り



## はくび会畑通信2010

今年もはくび会恒例の野菜作りの季節がやってきました！半年間ほったらかされた畑は見るも無残な荒地となっており、どうなることやら…とと思っていましたが、総勢20名ほどのパワーで一瞬にしてきれいなふっかふかの畝を作ることができました。ひきつづき種＆苗植えが行われましたが、トマト、きゅうり、とうもろこし、なす、枝豆、大葉などなどお酒のお供になるものをメインに少量多品種で攻める姿勢は今年も変わりません。なかでも去年異常な大豊作だったきゅうりと、毎年栽培に失敗している枝豆の出来、そして何かと何かが交雑してできるナゾの野菜の出現はかなり気になるところです。乞うご期待！いずれにしても収穫の時期が来るまでときどきわくわくですねー！そして、はやくやりたいパーベキュー！（かとう）



## ブラジルの和牛生産

さる5月25日、ブラジル和牛協会の飯崎貞雄会長が当研究室を訪問され、ブラジルの肉牛生産事情について講義をしてくださいました。

北海道出身の飯崎氏は、42年前に渡伯され、以来肉牛生産にかかわってこられたとの事でした。

ブラジルには、1.7億頭の肉牛が飼育されていて、海外へも多く輸出されているそうです。肉牛生産は、肉量、つまり大型化を狙って交雑育種が進められてきたそうで、主力品種としてインド原産のネローレ種、肉質が好まれるアンガス種はじめ、これらを用いた交雑種が写真付で紹介されました。

ブラジル和牛協会は、1994年に設立し、現在では約50軒の農家が和牛生産を行っていて、純粋の「Wagyu」が約



800頭、交雑種が約800頭登録されているそうです。出荷先は主にレストランで、高級ステーキとして販売されていて、価格は一般に出回っている牛肉(1kgあたり約\$3)の約3倍というお話でした。

ブラジルにおける和牛の一般的な飼養管理方法は、7ヶ月で離乳、12ヶ月令から肥育をはじめ、30ヶ月令で肉として出荷されるということで、気候帯の違いからか日本の生産形態とは少し事情が違いますが、霜降りを入れるには、時間をかけて育てる必要があるとおっしゃっていました。

講義の後には、学生からも活発な質問が出ていました。海外の畜産事情は純粋に面白いですね。ちなみにブラジルと日本における国民一人当たりの年間牛肉消費量は、それぞれ34.8kg、12.0kg(2000年、農畜産業振興機構)だそうです。

ようこ

昨年度当研究室を巣立ったOB2名が研究室に遊びに来てくれました(^\_^)。

ゴールデンウィーク中の4月30日には西尾先輩が、5月26日には木村(知)先輩が研究室を訪問されました。OB訪問とあれば、飲み会へということで、西尾先輩を囲んで有志の飲み会が開かれ、その後はキタバチへ・・・ダーツ大会となりました。数日後にはボーリング部の活動もあつたとか。

木村先輩の訪問日には、ちょうどアレックス先生の送別会があり、一緒に飲みたかったので、先約があったそうで、参加できず残念でした。

OBの先輩方、是非また遊びに来てくださいね！ちくしー同いつでもお待ちしております～♪

Department of Animal Husbandry Resources, Kyoto University, Faculty of Agriculture Oiwakekyo, Kitashirakawa, Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365

FAX 075(753)6365

http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN



GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で成り立っています。形式・文字数は問いません。また、読者の方々からのご意見やお問い合わせも大歓迎です。下記のアドレスまでどしどし送信してください。

E-mail: [yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp)

## お知らせ

### 今月のゼミ

今月のゼミは、

6月 1日(火)	スリタヤニ・中川(智)	14:45-16:15 E103
6月 8日(火)	中川(靖)・安在・徳山(文献紹介)	14:45-16:15 E103
6月10日(木)	小栗・イクバル(研究者会議)	10:40-12:00 E074
6月15日(火)	荒木・西田・前野(文献紹介)	14:45-16:15 E103
6月17日(木)	児嶋(研究者会議)	10:40-12:00 E074
6月22日(火)	石田・木村・小栗	14:45-16:15 E103
6月29日(火)	柳・中川(智)(修士中間発表)	14:45-16:15 E103

の予定です。

さて、最近、遅刻・欠席が目立っています。7月下旬までは、火曜日と木曜日にゼミがありますので日程を把握しておいてください。欠席する場合は研究室の誰かに連絡をするようにしてください。また、急な日程変更がある場合もありますので、メールのチェックを頻繁にさせていただきますようお願いいたします。ゼミ係り

### 今月のイベント

はくび会ソフトボール大会の打ち上げを6月11日(金)に予定しています。今年のソフトボール大会打ち上げの担当は生殖さんです。どんな打ち上げになるか楽しみですね  
はくび会ソフトボール係り

### 研究室の動向

5月25日より酒井君(M2)が研究出張に出かけました。今回は、代謝試験のため長期滞在となり、7月15日に帰国予定です。また、熊谷先生が5月29日～6月6日まで中国へ出張中です。

# 2010年6月の飼育当番表

日	月	火	水	木	金	土
5/30	31	1	2 児嶋・スリタヤニ 体重測定㊦	3	4	5
6	7	8	9 塚原・中川(智) 体重測定㊦	10	11	12
13	14	15	16 竹内・小栗 体重測定㊦	17	18 創立記念日	19
20	21	22	23 学生実験 柳・徳山 体重測定㊦	24 学生実験	25	26
27	28	29	30	7/1	2	3

**編集後記** 4月20日に、平成12年以来となる口蹄疫感染牛が宮崎県で見つかった以来、移動・搬出制限措置、感染畜発生農場飼養畜の殺処分と埋却、移動制限区域内の全ての牛・豚に対する殺処分を前提としたワクチン接種…と対策が採られてきましたが、いまだ収束の様相は見え、5月31日時点で247例目を数えました。前線で対策にあたる先生方や、農家の方々からの悲痛な叫びが届くたびに、同じ畜産にかかわりながら、何もできない無力感に苛まれます。一刻も早い終息を願って止みません。